

今回は理科と社会の勉強方法です。

理科 Science

中学校では「理科」という科目で各分野に分かれていました。高校でも科目名は「理科総合 A」ですが、「化学」の内容を勉強します。授業では基本的な内容を中心に進めていきますので、まず授業を真剣に取り組んでください。その中で、ポイントをいくつか挙げておきます。

1. 授業で今何をやっているのかを解って、授業を受けてください。
2. 覚えるべきことはしっかりと覚える。
3. 小テスト・定期テスト毎に、しっかりと理解する。

社会 Social Studies

なぜ現代社会を学習するのか。

君たちの中で、社会科（地歴公民科）＝丸暗記と思っている生徒はどれだけいるだろうか。確かに定期試験でいかに高得点を取るか、また大学進学などを考えていった場合、そう思わされてしまってるのも仕方がないことだろう。しかしそれは本当の学習する姿ではない。知識とは、具体的な事実や緊迫感を伴うこともある現実の社会の動きを通して、学習者の経験と結び付けられなければならない。またそれは、そのように結び付けられて豊かなイメージを伴って獲得されるのでなければ、試験の終了とともに忘れ去られてしまう。それでは見通しのきかない先行き不透明な現代社会で、自立して生きていくため力を育成することはできない。

そこで、「現代社会」という教科を通して、現代の社会を認識するとともに個々人の生き方を考えるため、幅広く多くの内容を学習する必要があるのです。しかし、その授業形態は先生方の特色を生かした多様なものとなっているため、特定の勉強方法をあげることは難しい。まずは授業に集中し、内容をすべて吸収してやろうという気持ちが大切です。また常日頃から TV・新聞などのマス・メディアを通して、様々な出来事に興味をもつと同時に、自分の意見を持てるようにしましょう。



来週 5 月 12 日から質問コーナー開設

いよいよ第 1 回定期テストが迫ってきました。そこで・・・

放課後、5 階選択教室に英語・数学の先生が
常時いて質問を受け付けます。

わからないことがあったらじゃんじゃん利用しよう